


# 紀の体

 和歌山市管工事業協同組合



「荒船海岸の日の出」(和歌山県東牟婁郡串本町)

URL <http://www.w-kankoji.com>

E-mail: [wakayama@w-kankoji.com](mailto:wakayama@w-kankoji.com)

## 荒船海岸の日の出

吉野熊野国立公園に指定され珍しい自然の造形美が延々3kmに及ぶ荒々しい磯岩のたたずまいは絶景。岩場は磯釣の名所でイシダイなど大物が釣れる。田原の海岸では12月～1月の早朝に「田原の海霧」とよばれる幻想的で有名な現象が発生します。年に4～5回、特に素晴らしい時があり、大勢のカメラマンが何日も泊り込み、シャッターチャンスを狙うので有名なスポットです。

## － 目次 －

新年のご挨拶	理事長 小向俊和	… 1
新年のご挨拶	顧問 和田秀教	… 2
新年のご挨拶	青年部会長 白井万佐也	… 3
役員会報告		… 4
組合の動き		… 6
青年部の動き		… 7
会社訪問		… 9
趣味のコーナー		… 10
編集後記		… 11





## 新年のご挨拶

和歌山市管工事業協同組合

理事長 小 向 俊 和

謹んで新年を賀し、組合員の皆様のご繁栄をお祝い申し上げます。

旧年中は組合事業にご支援ご協力を賜わりまして誠に有難うございました。

昨年は、統一地方選挙に引続き参議院議員選挙が行われ、野党が過半数を獲得、衆議院と参議院におきましてネジレ現象となっています。これにより法案審議は進まず、臨時国会を越年のやむなきにいたりました。今後、この様に議案審議が長引きますと、国民経済にとって少なからず影響するものと懸念され、早晩衆議院議員選挙が行われるものと思われれます。一方、1昨年に問題化した耐震偽装事件を皮切りに、昨年は賞味期限等表示に関する偽装事件が多発、消費者の信頼回復が急務となっています。このことは、我々の業界にありましても「他山の石」ではなく、どのようにすれば消費者の信頼を確保することが出来るか、が問われています。

今年、水道法の見直しの年です。改正水道法が平成10年4月に施行され10年を経過した時点で規制緩和の効果や施行状況について検討を加え、必要な措置を講じることとされていることから有識者による「指定給水装置工事事業者制度検討委員会」(厚生労働省)を設置し、施行状況を評価するとともに、課題解決のための方策について検討されています。検討内容によりますとこれ以上の規制緩和は必要なしとの見解をはじめ、改善を要する課題が検証されています。いずれ具体策が決定されるものと思われれます。

昨年の干支は「亥」、過去、地震の多い年と云われ近年では、阪神淡路大震災をはじめ、昨年は中越沖地震が起きました。今年の干支は「子」です。大雪や大雨など水害の多い年と云われています。「災害は忘れたころにやってくる」と云われます。いつ起きても不思議ではありません。日頃から防災に対する心がまえが大切です。

景気も決して良いとは云えません。政治、経済をはじめ取りまく環境はまことにきびしいものがありますが、組合員の皆様のご協力を得て組合発展のため、尽力致したいと考えていますので、より一層ご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、組合員の皆様のもより一層のご発展とご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。







## 新年のご挨拶

和歌山市議会議員

顧問 和田 秀 教

新年明けましておめでとうございます。和歌山市管工事業協同組合の皆様には、お健やかに素晴らしい新年をお迎えのことと存じお慶び申し上げます。

平素は、組合活動を通じて市政の発展にご尽力いただき、また和歌山市議会の活動に、ご理解とご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。

昨年5月の、第61回通常総会におかれまして、理事長として17年の長きに亘り和歌山市管工事業協同組合をご指導頂きました山本昌彦前理事長には、幾多の困難を乗り越え組合をこのように大きく、立派に育てて頂き本当にありがとうございました。

また、小向俊和新理事長には、厳しい環境の下ではございますが組合の発展のために取り組んでいただき、組合員の皆様が新理事長とともに、明日の組合作りに一致団結して対処されることを祈念いたします。

本年は、北海道洞爺湖サミットが開催されます。その主要な課題は地球温暖化をはじめとした「環境問題」であります。環境問題は持続可能な社会づくりのために継続して取り組むべき重要な課題であります。われわれ水道に携わる者として、水環境を守ることも大切ですが、水環境を育て、育成する社会づくりが必要と考えます。

平成12年6月に和歌山市水道局と「災害協力協定」いわゆる「災害発生時における水道施設の応急復旧の応援に関する協定書」を締結されております。大地震等の災害時における迅速かつ適切な対応について、よりきめ細かな、具体的なマニュアルを策定し、市民のライフラインを守る訓練が市民と行政と組合が一つになって行われることが大切だと思います。

最後になりましたが、組合員の皆様の益々のご活躍をご期待申しあげ、ご健康とご多幸を祈念して、新年のご挨拶といたします。

合 掌



## 新年のご挨拶

青年部 会長  
白井 万佐也

新年あけましておめでとうございます。

平成 20 年を迎え、組合員の皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

組合青年部は昨年も、紀ノ川一斉清掃のボランティア活動、和歌山市の小学生を対称に水の大切さを勉強してもらうために上・下水道場などを見学するエコクラブ探検隊、ぶんだら紀州おどりへの参加に水道週間中のピラ配りなどの PR 事業、組合員相互の親睦のためのスポーツイベントなど、たくさんの組合事業の実行部隊として活躍をいたしました。

また対外的には全管連青年部協議会の積極的な参加をはじめ、近畿圏の他組合青年部との交流会の開催など、よりグローバルな活動をおこなっております。

しかしながら近年、私たちの業界においては若い世代の減少の問題が大きく、和歌山市管工青年部の構成員も新規会員の減少により年々少なくなっております、こうした現状を打破するためには若者に安心して従事できるような業界の発展と、地位向上とを目指した活動が不可欠となります。

青年部活動は様々な事業を通して、部員の親睦と成長の機会を生み出すものであります、今期は新しくご就任されました組合の理事には青年部出身の方々も多く、組合員の育成機関としての役目も果たすようになって参りました、これからも青年部で成長した人材がこの業界の原動力となれるように努めていきたいと考えます。

組合員の皆様におかれましては、変わらませぬご支援をお願い申し上げますとともに、今年がより良い年になりますようにご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。





# 役員会報告

## 9月度 定例役員会

1. 開催日時 平成19年9月11日(火) 午後5時30分より  
 1. 開催場所 役員会議室  
 1. 役員定数 理事8名、監事2名  
 1. 出席役員 理事7名、監事1名

議事の概要は次のとおり

### 第1号議案 新規組合加入承認の件

伸紀建設 代表 安部政義 (和歌山市園部440-40)

議長の命により濱本専務理事より組合加入申請のあった、伸紀建設(代表 安部政義)について承認を求めたところ、全員賛成にて可決。

### 第2号議案 平成19年度 親睦旅行について

議長の命により専務理事より、担当理事で計画を進めていた平成19年度親睦旅行について別紙資料により指宿方面(鹿児島県)にしたい旨提案。全員賛成にて可決。

### 第3号議案 「災害時における水道施設復旧資材の優先供給に関する覚書」締結について

議長の命により専務理事より、災害対策上必要と考えられるので、別紙覚書(案)により取引のある資材メーカーと締結したい旨提案、全員異議なく可決。

### 報告議題

専務理事より以下の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

#### 1. 役員の辞任について

理事の高瀬日出海氏は、大扇建設㈱の代表者変更(退職)につき組合理事を辞任。

#### 2. 組合員の異動について

- 任意脱退 川野水道店 代表者 川野辰雄
- 法定脱退 小田商会 代表者 小田敏夫
- (有)風神組 代表取締役 北山和足

#### ○代表者変更

紀陽ダイキン空調㈱(平成19年6月1日付)

代表取締役 坂口宗生 → 津田米造

(有)ユカワ開発(平成19年6月18日付)

代表取締役 湯川正芳 → 湯川正純

大扇建設㈱(平成19年7月31日付)

代表取締役 高瀬日出海 → 柳澤光男

(株)松下工務店(平成19年9月5日付)

代表取締役 松下重夫 → 松下由美

(株)大昌商会(平成19年9月10日付)

代表取締役 山本昌彦 → 山本昌昭

#### 3. 平成19年度技能検定試験について

#### 4. 経営事項審査改正について(平成20年度)

#### 5. 和歌山市主催 防災訓練参加について

## 11月度 定例役員会

1. 開催日時 平成19年11月13日(火) 午後5時30分より



- 1. 開催場所 役員会議室
- 1. 役員定数 理事8名、監事2名
- 1. 出席役員 理事7名、監事2名

議事の概要は次のとおり

**第1号議案 平成19年度期末決算の見通しについて**

議長の命により専務理事より本年度決算の見通しについて、きびしい状況にある旨報告され、決算に関連して組合職員の年末賞与について、例年実績を0.5ヶ月下廻って支給したい旨提案、全員賛成にて可決。

**第2号議案 組合の年末年始の業務体制について**

議長の命により専務理事より年末年始の業務体制について、12月29日(土)から翌年1月6日(日)まで休業とする。但し、事業部については資材販売と漏水修繕及び改善委託工事の関係から事業部の業務は、12月は29日(土)、31日(月)、1月は4日(金)を3人の交替勤務体制で対応したい旨提案、全員賛成にて可決。

**第3号議案 組合顧問の選任について**

議長の命により専務理事より組合顧問の選任について提案、原案どおり全員賛成にて可決。

**第4号議案 組合販売資材の価格改定について**

議長の命により専務理事より、組合販売資材の価格改定について、昨年6月にも主要原材料の価格上昇により、価格改定のやむなきに至ったが、今年に入り1月ごろより一部メーカーより再値上げの要請があり、取引全メーカーの要請が揃っていないことを理由に仕入価格を据置いていましたが、全取引メーカーより別紙のとおり強い要請があり(10%~25%)、12月21日より価格改定に応じざるを得ない旨提案。尚、①個別製品価格については事務局に一任する②新価格表は12月上旬組合員に配布することも合わせて、全員賛成にて可決。

**第5号議案 運転資金の借入れについて**

議長の命により専務理事より、組合資材の価格改定に対応して改定前の価格で仕入れておくための運転資金として3,000万円、又、和歌山市との「災害時における水道施設の応急復旧の応援に関する協定」に基づき、復旧時に必要な資材を常時確保するため資材の在庫を増やす必要から、常時運転資金として2,000万円、合計5,000万円を借入れたい、尚、価格改定対応分の3,000万円については10ヶ月払いの短期借入れとし、2,000万円については5年払いの中期運転資金として借入れたい旨提案、補足説明として10月末現在の借入金残高は1,650万円、第61回通常総会で承認されている組合借入金の最高限度額を定めた1億円以内であることを説明。詳細な借入条件は事務局に一任することも合せ、全員賛成にて可決。

**第6号議案 年末年始の組合行事の日程について**

議長の命により専務理事より、別紙により提案、全員賛成にて可決。

**第7号議案 委託工事参加時の作業服等について**

議長の命により専務理事より、委託工事の作業服について見本により平成20年度より採用したい旨、提案。全員賛成にて可決。

**報告議題**

専務理事より下記の事項について報告があり、全員異議なく了承した。

- 1. 親睦旅行の参加状況について
- 2. 組合員の異動について
  - 任意脱退 中本工業 代表 中本正巳
- 3. 配管基幹技能者「認定講習会」について
- 4. 中越沖地震の対応と今後の課題について
- 5. 水道局入札制度について



# 組合の動き

## 組合親睦旅行《南国“鹿児島”歴史と名所旧跡を訪ねて》



知覧 特攻平和公園

晩秋の11月16日、17日、平成19年度組合親睦旅行が開催され、総勢46名で鹿児島に行ってきました。当日は早朝の寒い中組合本部前に集合、関西空港からは1時間余りで南国の暖かい鹿児島です。現地では観光バス2台で、ぬけるような青空の中、霧島神宮をかわけに桜島、そして薩摩半島を巡る旅が始まりました。「旅の楽しみ」は幾つかあります。今回は景色、食べ物、ホテルの温泉（砂むし温泉を体験）に加えて、薩摩そして日本の歴史を満喫してきました。

最初に訪れた霧島神宮は、日本神話の天孫降臨の迹迹芸命（ニニギハコト）を祀っており、山の中にありながら、幾重にも重なった朱塗り社殿の美しさと荘厳な佇まいがとて立派な神宮でした。そして、桜島を見学。溶岩道路や一面溶岩に覆われてなくなった集落跡に噴火のすさまじさを見ましたが、鹿児島市内から望む桜島は雄々しく立派な姿でした。また対照的に、指宿の長崎鼻から望む開聞岳（日本百名山の一つ）の姿は、別名薩摩富士と呼ばれるにふさわしい美しさです。見学する場所の美しい景観の中、あちこちで記念撮影会が繰り広げられました。

宿泊是指宿温泉で、海岸沿いの静かな松林に囲まれた「指宿白水館」です。ゆったりとした温泉や名物の砂むし温泉で日頃の疲れをとり、宴会では名物の黒豚や薩摩焼酎に舌鼓をうちながら、カラオケ大会で皆様自慢ののどを披露するなど盛りだくさんに楽しみました。

今回訪れた鹿児島の名所旧跡には、日本の神話、幕末や明治時代、そして昭和の戦争に関係の場所がたくさんみられました。バスガイドさんからそこまつわる歴史の話に興味深く聞きました。中でも深く心に残った所は、知覧の特攻平和公園です。太平洋戦争で、国そして家族を守るため、特攻隊として出撃した若者達の写真や遺品を展示した資料館では涙する人も多く、彼らの思いを深く受けとめ、みんな今ある平和のありがたさを口々に唱え、亡くなられた方々のご冥福を祈りました。

この度旅行に参加された方々は、20代から80代まで幅広い年齢層でしたが、それぞれにどこかで水道の仕事に係っています。初めて参加された方々も、すぐになじんで楽しそうに会話をはずませ、みんな同じ笑顔で見学をしていました。仕事を離れた2日間でしたが、仕事の話は勿論のこと、思わぬ趣味の話やご家族の様子にふれることができ、組合員同志や事務局職員との距離が均近くなり、とても楽しい親睦旅行になりました。



城山公園から望む桜島



# 青年部の動き

## 2007年度「エコクラブ探検隊」開催!



大新小学校と湊小学校での集合写真

本年も11月8日に透き通るような晴天のなかエコクラブ探検隊を開催いたしました。

エコクラブ探検隊は全国管工事業協同組合連合会青年部協議会の環境問題研究事業の一環として始まり、和歌山市組合青年部に於いても通年のボランティア事業として定着しております。

今回は和歌山市立大新小学校と和歌山市立湊小学校の4年生の生徒（2クラス）を大型バスで、加納浄水場、紀の川大堰の「水ときらめき紀の川館」、そして中央終末下水処理場を見学して、上下水道のしくみと水の大切さを勉強してもらいました。

浄水場施設では紀の川の原水が上水道水になるまでの工程を実際に見学体験しました、中央終末下水処理場では、そのスケールの大きさと、集まってくる下水の汚れかたや臭いにも驚いていた様子でした。

バスの中では、中国の工業公害による水

汚染の実態を通して水の大切さを勉強してもらいました。

生徒たちには勉強会の感想を全員に書いていただきました、その一部をご紹介します。

### 「社会見学に行って」

湊小学校 4年1組 柏木彩美

わたしはいつも手をあらう時、せっけんをつけたあともずっと水をだしっぱなしにするクセがあります。でも見学にいったらわかりまし



加納浄水場



た。まず「かのうじょう水場」にいったときはいつもつかって水がどれだけまをかけておくられてくるかがわかりました。

次に「水ときらめき紀の川館」に行きました。そこではいつも自分たちがつかった水のせいで川や海の水がどれだけよごれて、魚たちにえいきょうしているかがわかりました。

さいごに「中央終末しよ理場」に行きました。そこでは下水に薬をいれてきれいになった水とそのまの下水とをくらべたらぜんぜ



水ときらめき紀の川館(魚道観察室)

んちがうということがよくわかりました。これだけいろいろなことをしてきれいになった水なのに今まで自分は「すくもったいなことをしていたなあ」と思いました。だからこれからは水を使わない時はしっかりじゃぐちをしめるクセをつけたいです。

「エコクラブ探検隊」

大新小学校 4年1組 坂井智哉

見学に行って、ほくたちの、のむ水は、きの川の水で、そして、その水をきれいにしてきているじょう水場は、いろいろなきかいをつかっていて、とても、せいけつな水にしてくれていて、ほくは、とってもおどろきました。見学ツアーに行って、教科書でならったことがよくわかって、とっても、とってもよかったです。見学に行かせてくれてありがとうございました。

全管連青年部協議会ブロックシンポジウムIN名古屋に参加



全管連青年部協議会第2回ブロックシンポジウムが10月27日に名古屋市の名古屋ガーデンホテルにて開催されました、和歌山からは4人で参加してきました。

経営に関する事例発表がおこなわれ、設備業界の可能性を模索した内容が話し

あわれました、また第2部では中国の水質問題を研究されている曹穎(ソウエイ)氏を講師に迎え「中国内陸部における水環境の実態と今後」という講演を聴き、水環境の危機を勉強してきました。



会社訪問



おじゃマンII号の  
**儲かりまっか!**  
大 換

「こんにちは皆さん儲かりまっか!」

今回は、青年部で通称「中山あにー」で慕われる配管兄弟の(有)中山配管工業所さんにおじゃましました。

おじゃマンII号：

「中山社長は、この仕事について何年になります?」

社長：

「僕がやりだして25年目で、祖父が創めて、父親が昭和25年に指定工事店の登録してるから、組合でも結構古いほうかな。」

おじゃマンII号：

「なるほど、3代目ですね。仕事内容は、どのような?」

社長：

「一般個人住宅の給排水工事が多いけど、組合事業の改善・待機工事、メーター替の仕事もしています。」

おじゃマンII号：

「事務関係は、お母さんが主にしているんですか?」

お母さん：

「事務もしてるし、入札、役所関係も私が行くし、いつも自転車で行くよ。組合の総会と旅行は、私の担当、いつも楽しみにしてます。」



有限会社 中山配管工業所

和歌山市北出島1丁目4-27

おじゃマンII号：

「お母さんお元気ですねー。事務所と隣の自宅は、最近建てたんですか?」

社長：

「もともと納定に家があったんですけど6年前にここにかわりました。2世帯住宅にしています。」

おじゃマンII号：

「会社のモットーは?」

社長：

「『親切・丁寧・迅速』にを、モットーにお客さんを大切に仕事をしたいと考えています。」

おじゃマンII号：

「中山社長、お母さん、お忙しい中お邪魔しました、専務さんにもよろしく。」



左より専務(久光さん)、母(静代さん)、社長(一成さん)





趣味のコーナー

# Uちゃんの 何と! 驚きました

## 陸海空編



JFAファミリーフットサルフェスティバル・田中氏

Uちゃんの「何と、驚きました。陸海空編」第4弾、無理やり押しつけの「空編」「空から滑り降りた、Mr.フットサル」こと、田中光一郎さん（和宏産業商会・和歌山市黒田・43歳・青年部）

**Uちゃん**：田中さんて、うわさによると、大変、愛妻家（まさか恐妻家？）って聞くんですけど。

**田中さん**：それは、たぶん青年部の前会長の「何で、今日の会議、田中きてへんのか」「田中さん、金曜日は、奥さん（優子さん）がPTAのママさんバレーに行く間、子供3人（長男・健太郎君、5年生 長女・朱莉-あかりちゃん、3年生 次女・芙美-ふみちゃん、5歳）の面倒を見てやなあかんので、って言ってました」「しゃーないなー、曜日変えよか。嫁さんだけは、大事にせなあかんさかいなー、田中見習わなあかんで、Uちゃん、」 きっとその件やで。Uちゃん。

**Uちゃん**：えー、ボクですかー 田中さん ちは、家族旅行は、よく行くんですか？

**田中さん**：年に2回は奥美濃（岐阜）にスキーに行く、今流行のボードよりやっぱりスキーは二枚板よ！頂上からの直滑降は最高よ、空から飛び降りる気分やな。

**Uちゃん**：すごいですねー。ちなみに仕事終わったら、毎日留守番ですか？

**田中さん**：ちがう、ちがうって、仲間でサッカーのチーム作って試合したりしてる。5人制のサッカーで「フットサル」言うのがあるんやけど40歳以上のマスターズの部で優勝目指してるんや、ちょっと高年齢化してもたけど。

**Uちゃん**：田中さんは、青年部でもパソコン得意ですよ。

**田中さん**：得意って事ないけど、最初に青年部の先輩の吉川さん（現近畿電設工業株式会社社長）に教えてもらって、仕事で花王と取引があるんで、打合わせなんかは、メールでやりとりするんで結構必要やし、CADで図面も書かんといかんしな。一般の個人住宅の設備工事が多いけど、リフォームや外溝工事もするんで必要やな。

**Uちゃん**：えー、外溝工事なんかもあるんですかー

**田中さん**：外回りの水道工事やってて、お客さんに「犬走りのコンクリートもしてもらえませんか」って頼まれて「でもそんなの、関係ねー！」って言える？

**Uちゃん**：「オッパッピー」



編 集 後 記



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。組合員の皆様にはますますご清祥に越年の由、心よりお喜び申し上げます。昨年中は何かと組合事業にご参加ご協力を賜わりまして、誠にありがとうございます。

何とぞ本年も変わらぬお引立てを賜わりますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

本年は「子」(ね、ねずみ)年ですが、干支(えと)とは、正確には「十干(じっかん)」と「十二支(じゅうにし)」の組み合わせです。干支(えと)の「干」は十干のことで、十干とは、甲(きのえ)乙(きのと)丙(ひのえ)丁(ひのと)戊(つちのえ)己(つちのと)庚(かのえ)辛(かのと)壬(みずのえ)癸(みずのと)となります。

干支の「支」は十二支のことで、子(ね)丑(うし)寅(とら)卯(う)辰(たつ)巳(み)午(うま)未(ひつじ)申(さる)酉(とり)戌(いぬ)亥(い)です。十干の最初の「甲」と十二支の最初の「子」の組み合わせ「甲子(きのえね)」から始まり「癸亥(みずのとい)」まで60種類となり60年で一周し、同じ干支に戻ることから60歳を「還暦」としてお祝いするわけです。本年の場合は、干支は「戊子(つちのえね)」となります。

原油価格をはじめ主要素材の大幅な高

騰、電気をはじめ公共料金の値上げ、食料品の値上げ等値上げ攻勢が続いています。景気回復が中小企業にとどかない状況の中での物価上昇は、中小企業主はもとよりそこに働く従業員にとって非常にきびしい状況です。

衆・参両院における与野党のネジレ現象が国民経済にとって悪影響を与えかねません。党利党略によらない国際的・国民的な視野に立った政治を望みたいものです。

昨年度は実施できなかった親睦旅行、今年度は「南九州、指宿温泉の旅」を企画しました。参加メンバーの皆さまもだいぶ変わってきましたが、11月とは云えまだ暖かい鹿児島で、美味しい料理と薩摩焼酎を楽しませて頂きました。参加者一同、来年度の参加を誓い合いました。未参加の方には来年度こそ、是非ご参加頂きますよう。

毎号、表紙を飾る写真は、本紙の発行をはじめ組合関係の印刷物で大変お世話になっています井手印刷株の井手社長さんの提供によるものです。本紙「紀の水」のイメージアップに大きく貢献して頂いていますこと、紙面より厚く御礼申し上げます。

編集委員一同

■組合だより 紀の水

●発行  和歌山市管工事業協同組合

理事長 小 向 俊 和

●編集 編集委員会

〒640-8251 和歌山市南中間町12

TEL(073)436-6801

FAX(073)436-6804

URL <http://www.w-kankoji.com>

E-mail:wakayama@w-kankoji.com